

施策評価シート(令和4年度実施施策)

総合計画 体系	政策No.	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり	施策主管課	健康ふくし課
	施策No.	3-2	施策名	高齢者福祉の充実	施策主管 課長名	平山 正孝
関係課	健康ふくし課					

1. 施策の目的

対象	A 町民・地域	意 図	A 近所の高齢者を地域で見守っている
	B 高齢者		B 健康の維持に努めるとともに、積極的に社会参加している

2. 成果指標

指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 認知症サポーターの数（増加）（現状値：H30時点）	人	4,610	5,299	5,474	5,625	5,759	5,879
				6,119	6,574			
②	B 要介護の高齢者の割合（要支援を除く）（維持）（現状値：H30時点）	%	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
				16.7	15.9			
③								
④								

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	一般向けの認知症サポーター養成講座を一般のグループ団体、集いの場、民生委員総会で行ったほか、町内小中学校、県立会津西陵高校の児童生徒を対象に講座を開催した事により、幅広い世代に認知症サポーターを養成する事ができ、目標を上回ったと考えられる。
②	増加が続いた65歳以上の被保険者が対前年比において微減に転じた。要介護認定者については、死亡等による自然減と合わせ、新規要介護認定申請の減少にともない、要介護の高齢者の割合が減少したと考えられる。
③	
④	

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

集いの場で実施する介護予防事業では、保健師・管理栄養士による健康教室のメニューを「からだ編、食事編、口腔ケア、お薬の話」に細分化し、選択しやすよう改善したことで、前年度と比較して実施回数が増加した。
---

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

集いの場で実施する介護予防事業のメニューを増やし、引き続き高齢者のフレイル予防を行い要介護認定の抑制に取り組む。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため休止状態になっている地区の集いの場への声掛けや、新たに立ち上がる地区の集いの場へのサポートに取り組む。
--

## 6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和4年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	14446	認知症対策総合支援事業	7,605	拡充	現状維持	②生産性改善	
2	14533	家族介護支援事業（家族介護リフレッシュ事業）	895	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	14539	その他事業（成年後見制度利用支援事業）	2,413	拡充	拡大	①有効性改善	○
4	14565	一般介護予防事業	1,265	拡充	現状維持	②生産性改善	○
5	14644	生活支援体制整備事業	6,087	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
6	16716	介護保険事業	466,133	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
7	16717	シルバー人材センター運営支援事業	4,521	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
8	16718	ふれあい福祉基金積立金事業	740	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
9	16719	高齢者在宅福祉サービス事業	25,155	現状維持	縮小	③効率性改善	
10	16720	老人福祉施設入所者保護措置事業	9,074	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
11	16721	敬老事業	10,633	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
12	16722	老人クラブ活動支援事業	209	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
13	16723	介護サービス利用者負担軽減措置事業	0	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
14	16727	高齢者福祉施設管理事業	11,620	現状維持	縮小	③効率性改善	
15	16728	老人福祉施設管理事業	71,427	現状維持	現状維持	⑤現状維持	